

企業市民としての活動

災害に対する支援活動

平成11年は、世界各地で地震災害が相次ぎました。当行は8月のトルコ大地震に際して、富士銀行、日本興業銀行と協調して行員・関係会社社員から義援金を募り、日本赤十字社を通じて被災者救援のための寄付を行いました。これは、みずほフィナンシャルグループ3行の初めての共同事業となりました。

また、9月の台湾大地震に際しても、当行から現地の赤十字社を通じて被災者救援のための寄付を行いました。

当行は、パプアニューギニアの津波被災者に対する行員からの義援金(平成10年)、日本海タンカー重油流出事故での重油回収ボランティア(平成9年)、阪神・淡路大震災被災者への義援金(平成7年)など、かねてから国内外で発生した災害の被災者に対する支援を行っています。

「はあと記念財団」の活動

当行の創立を記念して昭和47年に設立された「はあと記念財団」は、へき地教育、障害児教育、老人福祉分野を中心に社会貢献活動に取り組んでいます。なかでも全国の老人ホームを対象とした福祉用自動車「はあと号」は、平成11年度も5台贈呈され、設立以来の累計で216台に達しました。

行員のボランティア活動の支援

当行は、創立以来、社団法人「小さな親切」運動本部が推進する「小さな親切」運動に賛同して参加・支援を行っており、その活動の一つである「日本列島クリーン大作戦」による清掃活動に毎年多くの行員が参加しています。このほかに、全国のお客さまや行員から使用済切手・使用済テレホンカードの収集を行い、発展途上国の社会福祉の向上に役立てています。また、平成5年より「ボランティア休暇制度」を設け、行員のボランティア活動を支援しています。

銀行業務を通じた社会貢献活動

銀行業務を通じた社会貢献活動としては、(財)世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)に寄付ができる「ハートの自然環境保護口座」や日本赤十字社を通じて被災者に寄付ができる「サポーターズ」などの専用総合口座を取り扱っています。また環境関連では、太陽光発電設備付きの住宅の購入者に対する住宅ローン「太陽光発電住宅ローン」や生ゴミ処理機などの環境保全機器の購入者に対するパーソナルローン「環境設計」など、取引状況に応じて優遇金利が適用されるローン商品も提供しています。

海外における社会貢献活動

当行は、海外においても数多くの社会貢献活動に取り組んでいます。以下その一部を紹介します。

- ・アジアでは、平成10年に創設した「DKBアジア人材育成基金」により、東南アジア諸国における学校への援助や学生への奨学金を通じて、アジアにおける人材育成に寄与しています。
- ・米国においては、平成4年に創設した「米国DKB基金」により、低所得地域の復興支援団体への寄付などを通じて、地域社会への貢献活動を行っています。



▲トルコ大地震日本赤十字社贈呈式(上)、はあと号贈呈(下)